

「児童養護施設の満期退所後のフォローの課題と

地域資源との連携について」

児童養護施設に居られる年齢は原則 18 歳の年度末までです。子ども達は、高校卒業と同時に施設を出て、一人で生計を建てていく必要があります。進学するか、就職をするかを選択し、自立していかなければいけません、そこには多くのハードルがあります。

支援をしている立場で、どのような課題を感じているのか、どのような地域資源のフォローがあったら生活していけるのか等、実践をとおしてお話して頂きます。児童分野に限らず、それぞれの立場でお話を聞くことによって、どんな資源があったら良いか、子どもたちのために何ができるかということを考えてみましょう。

日 時：平成 29 年 1 月 18 日（水）

午後 7 時～8 時 30 分まで

会 場：伊那市社会福祉協議会

伊那市山寺 298 番地 1

講 師：児童養護施設たかずやの里 大槻 富友子氏（保育士）

長野県社会福祉士会 南信地区上伊那ブロック

問合せ連絡先：原 智美（南信地区副支部長）

メール：inacsw@gmail.com

（学習会企画：福祉活動員 児童分野 中川 峻介）